

各 位

会 社 名 シーキューブ株式会社
本社所在地 名古屋市中区門前町1番51号
代表者名 代表取締役社長 橋本 涉
コード番号 1936 名古屋証券取引所 第1部
問合せ先 取締役経営企画部長 石田 浩之
T E L 052-332-8011

アグリビジネスへの参入に関するお知らせ

当社は、シーキューブ・グループ中期経営計画「SGK2020」の経営戦略の1つに掲げた「次世代に向けた新たな収益の柱の創造」として、ICTを活用した高糖度ミニトマトの生産販売事業及び農業ソリューション事業に参入することを決定いたしましたのでお知らせします。

本事業は、銀座農園株式会社から栽培技術および販売における支援を受け、最先端の栽培技術であるアイメック®(別紙参照)を活用するとともに、ハウス内の温度や湿度などの環境データを常時監視・制御するなど、最新のICT技術と栽培技術を組み合わせた次世代農場による運営を実施します。また、将来的にはAI等の活用も視野に入れ、新しい農業の創造に向け取り組んで参ります。

なお、栽培に関わるスタッフは地元の方々の雇用を優先的に考える等、地域の発展にも寄与して参ります。

[高糖度ミニトマト 生産販売事業 概要]

- | | |
|-------------|--|
| 1. 生産拠点 | 岐阜県加茂郡坂祝町黒岩地区
5,718㎡(ハウス面積 3,240㎡) |
| 2. 生産品目 | 高糖度ミニトマト |
| 3. 収穫量 | 28トン(年間) |
| 4. 生産スケジュール | 平成30年 3月～ ハウス建設
平成30年 8月～ 生産
平成30年12月～ 収穫および販売 |

以 上

【別紙】

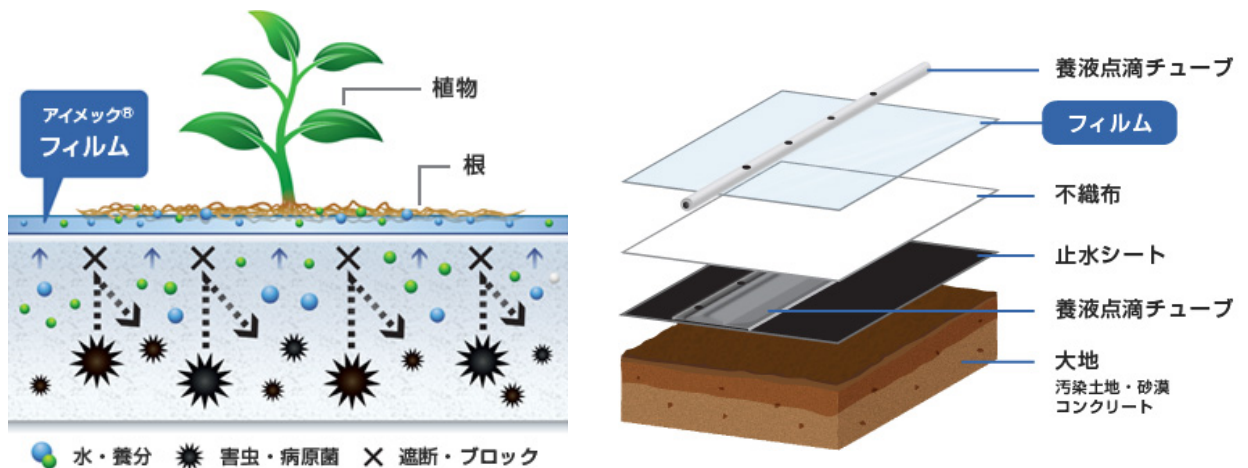
アイメック® (フィルム農法)

アイメック®は、メビオール株式会社が開発したハイドロゲルという高い保水性を持つ特殊な素材でできた薄いフィルムの上で植物を栽培する方法です。フィルムにナノサイズの無数の穴が開いており、必要最低限の水と養分だけを通し、菌やウイルスは通過することができない仕組みとなっています。植物はフィルムを通し、吸い難い水を吸おうとして、多くの糖分やアミノ酸を作り出す結果、高糖度と高栄養価の農作物が栽培できる最先端の栽培方法の一つです。

アイメック®は、フィルムを使うことで、土づくりが不要となり、農業の未経験者でも短期間で再現性の高い農作物の生産が可能であるほか、従来の水耕栽培と比較して水、肥料、電気などが削減でき、高い収益性を目指すことが可能となります。

また、砂漠や塩害を受けた土壌でも高品質の野菜を栽培することが可能で、UAE (アラブ首長国連邦) の砂漠地帯や東北地方の津波被害にあった地域での活用も進められており、注目されています。

※ アイメック®については、メビオールの公式サイト (<http://www.mebiol.co.jp/>) から一部引用しております。



(図) アイメックフィルムの仕組み